



亀中だより

No.9

令和7年5月30日 文責 岡田

For The Students!

未来そして平和… 3年生修学旅行

5月21日～23日、3年生の修学旅行が実施されました。修学旅行の主な目的地を広島へと変更して二度目の修学旅行は、今年限りのイベント大阪関西万博を含む充実した内容の三日間となりました。

3年生の学年目標は「RAINBOW」です。修学旅行は学年目標の「RAINBOW」の達成に向けた一場面として「自分らしい色と形を見つけよう」というスローガンを学年評議会が掲げてくれました。この目標には、みんなが楽しく笑顔で学習ができ、一人ひとりが RAINBOW のように自分に合った色をたくさん見つけて、自分らしく輝けるようにという願いが込められていました。



今年の修学旅行は、大阪関西万博の開催期間と重なり、またとない機会を得ることができました。見学時間は十分ではなかったかもしれませんが、前号で紹介したように亀山中学校の目指す学びにつながる見学、体験ができたのではないのでしょうか。

二日目に訪れた広島では、平和記念公園から原爆ドームを見学し、千羽鶴を奉納、平和記念資料館の見学を経て、メモリアルホールで被爆体験講話を聞かせてもらいました。そして生徒の代表が平和への願いを込めた「平和宣言」を読み上げ、「空は今」の合唱で、セレモニーを終えました。この平和宣言と合唱は講演をいただいた才木幹夫さんをはじめ資料館の方々から感動的でしたとお声いただくことができました。

広島での午後は世界遺産・厳島神社、宮島を見学しました。瀬戸内海に浮かぶ赤い鳥居に代表される寺社建築は、日本三景の一つとしても知られ、自然と融合した荘厳な雰囲気を感じさせてもらいました。

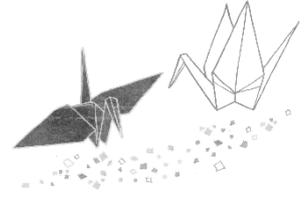


修学旅行の最大の目的はやはり平和学習です。そしてそれは単に過去を学ぶことではなく、平和を守る主体者となることです。今年で戦後80年を迎えます。日本としては、この数字をこの先も増やし続けなくてはなりません。何年かあとに、今この現在が、「戦前」といわれることがあってはなりません。しかしその一方で、世界的には、今この現在にも戦禍にある国や地域が現実にあります。戦争が過去の話でないのであれば、これから生きる私たちが担う役割もあるはずで、世界の平和を希求する一人の人となるべく、これからも学び、行動できるようにしていきたいです。

(次ページ: 平和宣言)



平和宣言



1945年8月6日8時15分 広島に原子爆弾が落とされました
一瞬にして たくさんのかげがえのない命が うばわれました
そのできごとにより 今でもたくさんの人が 苦しんでいます

私たちは 戦争と平和について学習してきました
生きてくてもいきれない人がたくさんいたというつらい過去があったということ
ただ怖いだけでなく、人々の体と心をたくさん傷つけた残酷な存在であること
戦争は人の命を失うだけで何も得られるものはないということだということを学びました

そして平和とは何か 私たちは考えました 平和とは
みんなが笑顔でいること
毎日が楽しいと思えること
毎日学校に行けること
当たり前にある日常がどれだけ幸せなのか
あらためて気づくことができました

しかし 世界にはまだ多くの争いや 差別があります
争いにより 悲しく辛い思いをしている人々がたくさんいます
今の私たちでは世界で起こっている争いを止めることはできません
でも 平和を願い 自分たちの周りから平和を築いていくことはできます

平和を築いていくために 私たちができること それは
平和な日々感謝の気持ちをもって過ごすこと
自分の意見も人の意見もどちらも大切にすること
人と協力しあい、「言葉」で思いを伝えていくこと
小さなことでも争いをせず、話し合いで解決すること
困っていたら助けになるような行動をすること
戦争を繰り返さないために学び、考え、伝えていくこと

平和学習で学び考えたことを 行動にうつし 争いのない未来を
そして ここにいる誰もが 心から平和だと思える日々を目指して
努力し続けることを宣言します

令和7年5月22日 三重県亀山市立亀山中学校 3年生一同